



# 三小だより



5月の生活目標

持ち物を大切にしよう

新たな取組にチャレンジする5月 ～保護者・地域の皆様とともに～

校長 山下 裕司

風薫る季節となりました。青い空のキャンパスに緑豊かな校庭と校舎が、いっそう美しく映えます。そこには、目には見えませんが、『自立した学び舎 三小スタイル』の看板が私には見えております。学校説明会でもお話いたしました。組織一丸となって子どもたちの学びを創造していく、その意気込みがこの看板に込められています。学校は学びの場。学びがあるから楽しい。だからこそいま問われているのは、その学びの質なのです。

さて、その子どもたちの学びを創造するにあたって、学校と保護者と地域が一体となって取り組める新たな場を今年度いくつか設定しております。今回はその中から5月に始める2つの取組をお伝えいたします。

## (1) 交通安全・あいさつ週間

春と秋の全国交通安全週間の期間中に子どもの登校を見守ると同時に、子どもが主体的にあいさつできる場として取り組みます。春の交通安全週間である5月11日(木)～5月20日(土)この期間に保護者の皆様には、学校より配布いたしました携帯用交通安全旗を持って、子どもたちの登校の見守りをお願いいたします。1日でも、短時間でも、家の前でも、通勤途中でも構いませんのでご協力をお願いいたします。子どもたちは、すすんで心からのあいさつができるようにしたいと考えております。あいさつすることを強制するのではなく、自分たちの安全を見守ってくださっている大人に対して、何を思い、どう行動するのか。そこで生まれた言動こそが、これから生きていく上での汎用性のある力となります。この考え方は、学校での学習と全く同じなのです。

また、地域の交通対の皆さんと協働で旗振りに取り組むポイントも用意いたしました。17のポイントがありますので、いつでも、どこでもご参加ください。こちらは、校支援アプリのアンケートフォームで募集いたしました。現在のところ延べ 236名の方が参加されます。まだ、参加のないポイントもあるので再募集いたします。

## (2) 体力調査新システム

体力の向上は本校の大きな課題です。駅前の学校で運動する場が少ない。また、コロナによる運動不足と子どもたちの体力の低下は否めません。昨年度の1日家庭教育でのご質問や学園・学校評価アンケートでも体力向上に向けてのご意見は少なくありませんでした。

そこで、今年度、三小体力向上全体計画を策定し、体力調査の仕方を大きく変えます。

現在の体力調査は、平成11年度に国が改訂し、「新体力テスト」としてスタートしました。体力の要素を網羅した8つの種目が誕生しました。ちょうど私が本校で教員として勤めていた時です。それから四半世紀が経ちました。体育主任をしていた私は、都庁まで出張し、測定研修会を受講したことを今でも覚えております。

今年度の本校の体力調査新システムは、保護者、地域の皆さんに実際の測定に参加いただき、子どもたちの体力の現状を見ていただいて、課題を共有したいということが大きなねらいです。最大、延べ人数300名を超える学習ボランティアを募集いたします。具体策である体育の開発した単元である「三小体づくり運動・運動遊び」で、発達段階に応じて子どもたちが体力とは何かを理解し、どうすれば高めていけるかという視点で探究します。その単元を通して日常生活習慣、運動習慣のめあてをもち、具体的な取組ができるようにします。その際に、「体力調査ファイル」を活用します。課題を共有した保護者・地域の皆様と一緒に子ども一人一人がもった具体策を取り組めるよう見守っていただきたいと思います。今年度より朝の校庭開放を三小わいわい広場の皆様の協力で行いました。これもこの計画の一環です。

5月17日(水)には、教員、学習ボランティア向けの測定講習会を行います。リモートでも参加可能です。

また、測定講習会に参加できなくても写真入りの三小オリジナルの測定マニュアルを測定当日にお渡しいたします。担当の教員から説明を聞いていただければできますので、どうかご参加ください。

現在のところ延べ 300余名の方が参加していただきます。不足する日もありますので再募集いたします。

皆様のご協力に感謝申し上げます。



(三小わいわい広場の皆様の見守りのもと  
元気に遊ぶ子どもたち)